

2025年度

京都女子大学大学院

学生募集要項

文学研究科

発達教育学研究科

家政学研究科

現代社会研究科

法学研究科

目 次

京都女子大学大学院 入学者受入れの方針 ……	1	社会人の出願について……………	28
博士前期課程・修士課程 一般選抜要項 ……	3	試験当日の注意事項……………	28
博士後期課程 選抜要項 ……	9	個人情報の取扱いについて……………	28
外国人留学生特別選抜要項 （博士前期課程・修士課程）……………	12	個人情報の利用について……………	28
外国人留学生特別選抜要項（博士後期課程） ……	17	試験会場案内図……………	28
社会人特別選抜要項（博士前期課程・修士課程）…	20	入学手続について……………	29
博士前期課程・修士課程 学内推薦選抜要項 ……	25	「個別の入学資格審査」について ……	31
出願に関する注意事項……………	27	長期履修学生制度（概要）……………	33

京都女子大学大学院 研究科・専攻・研究領域

【博士前期課程・修士課程】

研究科	課程	専攻	研究領域
文学研究科	博士前期	国文学	国文学
			国語学
			漢文学
	博士前期	英文学	英米文学
			英語学
	博士前期	史学	日本史学
東洋史学			
西洋史学			
発達教育学研究科	博士前期	教育学	
	博士前期	心理学	心理学 臨床心理学
	修士	表現文化	
	修士	児童学	
家政学研究科	博士前期	食物栄養学	
	博士前期	生活造形学	造形意匠〈デザイン〉学
			アパレル造形学
			空間造形学
博士前期	生活福祉学		
現代社会研究科	博士前期	公共圏創成	
法学研究科	修士	法学	

【博士後期課程】

研究科	専攻	研究領域
文学研究科	国文学	国文学
		国語学
		漢文学
	英文学	英文学
		米文学
		英語学
史学	史学	日本史学
		東洋史学
		西洋史学
発達教育学研究科	教育学	教育学 心理学
家政学研究科	生活環境学	食物栄養学 生活造形学
現代社会研究科	公共圏創成	

京都女子大学大学院 入学者受入れの方針

京都女子大学大学院は、人材養成・教育研究上の目的のもと、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けるための条件として、各研究科の専攻毎に独自の入学者受入れの方針を掲げ、次に掲げる知識・技能、素質を備えた人材を受け入れます。

1. 進学する専門領域に関する基礎的な知識・技能を修得している。
2. 主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

また、上記の事項については、筆記試験、口述試験、研究計画書等によって評価します。

文学研究科

文学研究科には国文学専攻、英文学専攻、史学専攻があり、それぞれ独自の入学者受入れの方針を掲げ、主体的に学ぶ意欲のある人材を求めています。

[文学研究科 国文学専攻 (博士前期課程)]

国文学専攻は、国文学、国語学、漢文学の3分野を設け、文献資料に基づいて高度な読解力及び理論的な思考力を修得し、学問の進展に対応できる優れた知見と幅広い視野を持つ研究者、教育・文化に係わる社会的要請に応え得る高度な専門性を身につけた真に社会貢献のできる職業人を育成しようと考えています。そのために、「正解」の無い問題に取り組む強さを持った、言葉を論理的に用いることに関心のある人材を大学院入学者選抜試験において求めています。

[文学研究科 国文学専攻 (博士後期課程)]

国文学専攻は、国文学・国語学・漢文学の3分野にわたり、総合的に、更には学際的視点をも加えて、専門的分野の業務にも耐え得る高度な研究能力とより豊かな専門的知識を身につけた研究者、社会的要請に応え得るより高度な専門性と教養を身につけた職業人の育成を目指しています。言葉に対する豊かな感受性と言葉を論理的に用いることに関心があり、自分自身を強くリードするモチベーションのある人材を大学院入学者選抜試験において求めます。

[文学研究科 英文学専攻 (博士前期課程)]

英文学専攻は、英米の言語・文化についての専門的な見識を備え、総合的な視野に立って、現代日本社会と英米文化圏との橋渡しを行うことのできる真の国際感覚を身につけた研究者、高度の英語運用能力と英語圏や英語教育に関する専門的知識を持つ職業人を育成しようとするものです。そのために、英語学英米文学分野における専門的知識を有するとともに、それらに関する能力にもすぐれた人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[文学研究科 英文学専攻 (博士後期課程)]

英文学専攻は、英米の言語・文化についての高度で専門的な見識を備え、総合的かつ学際的な視野に立って、現代日本社会と英米文化圏との橋渡しを行うことのできる真の国際感覚を身につけた研究者、高度の英語運用能力と英語圏や英語教育に関する専門的知識を持つ職業人を育成しようとするものです。そのために、英語学英米文学分野における専門的知識を有するとともに、それらに関する能力にもすぐれた人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[文学研究科 史学専攻 (博士前期課程)]

史学専攻は、日本史、東洋史、西洋史の3研究分野を通じて、総合的な歴史を究明し、高度な専門業務に必要な研究能力と豊かな専門知識・教養を身につけ、学問の高度化・社会的要請に応えうる研究者、新しい時代的要求に応えうる職業人を育成しようとするものです。そのために、上記3研究分野に応じた専門的知識を有するとともに、それをもとに現代社会に内在する諸問題の歴史的背景を長期的・短期的に理解できる人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[文学研究科 史学専攻 (博士後期課程)]

史学専攻は、日本史、東洋史、西洋史の3研究分野を通じて、総合的で学際的な歴史を究明し、高度な専門業務に必要な研究能力と豊かな専門知識・教養を身につけ、学問の高度化・社会的要請に応えうる研究者、新しい時代的要求に応えうる職業人を育成しようとするものです。そのために、上記3研究分野に応じた専門的知識を有するとともに、それをもとに現代社会に内在する諸問題の歴史的背景を多面的に分析・理解し、さらに歴史的見地から現代社会に新しい問題を提起しうる人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

発達教育学研究科

発達教育学研究科では、各専攻に関する総合的な専門的知識あるいは技能の有無について筆記試験等を通じて精査し、志望動機、目的意識、学習意欲、適性、将来性などに関して面接試験を通じて総合的に審査し、合否判定を行います。また、単に専門的知識だけではなく、主体的に問題を見いだす問題発見能力やそれに対する問題解決能力及び研究能力を備えた入学者を求めています。

[発達教育学研究科 教育学専攻 (博士前期課程)]

教育学専攻は、教育の諸側面・領域を可能な限り個別かつ総合的に解明し、その問題点の抽出と分析を通じて教育に関する新たな知見を構築し、研究者としての能力を養うとともに、高度な専門資質や能力を身につけた教育者・職業人を育成しようとするものです。そのために、十分な基礎知識と教育にかかわる総合的な専門的知識を有するとともに、実際的な局面における問題解決能力にもすぐれた将来性のある人材を大学院入学者選抜試験において求めます。

[発達教育学研究科 心理学専攻 (博士前期課程)]

心理学専攻は、心理学に関する総合的な専門的知識あるいは技能の有無について筆記試験を通じて精査し、志望動機、目的意識、学習意欲、適性、将来性などに関して面接試験を通じて総合的に審査し、合否判定を行います。単に専門的知識だけではなく、主体的に問題を見いだす問題発見能力やそれに対する問題解決能力及び研究能力を備えた入学者を求めています。

[発達教育学研究科 表現文化専攻 (修士課程)]

表現文化専攻は、言語や身体、音楽や造形を媒体とした多様な表現活動を通して、より人間的なコミュニケーション能力を身につけ、今日の社会や教育が直面している様々な現実的課題に多角的な見地から取り組むことのできる表現文化の担い手を育成します。そのために芸術や文化の諸活動に関して十分な基礎知識・技能を有するとともに、人間の表現行為やその所産について包括的な視点から探究しようとする学際的態度を持った人材を大学院入学者選抜試験において求めます。

[発達教育学研究科 児童学専攻 (修士課程)]

児童学専攻は、児童の心身の発達や生活・文化について科学的にとらえるとともに、発達支援・子育て支援の技術や、児童文化活動における高度な表現力を身につけ、児童が健やかに生きるための援助者としての視点をもつ研究者、専門的職業人を育成しようとするものです。そのために、児童発達・児童保健・児童文化の3領域における十分な基礎知識を有するとともに、さらに高度な専門的知識を求めようとする研究意欲や知的能力にすぐれた人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[発達教育学研究科 教育学専攻 (博士後期課程)]

教育学専攻は、教育学と心理学のいずれかの領域において、高度な専門業務に従事するために必要な研究能力と豊かな学識を養い、国際的な視野を備えて自立して研究活動を行いうる研究者及び高度の専門的職業人を育成しようとするものです。そのため、教育学や心理学に関する高度な専門的知識あるいは研究手法の有無について筆記試験等を通じて精査し、志望動機、目的意識、学習意欲、将来性などに関して面接試験を通じて総合的に審査し、合否判定を行います。単に専門的知識だけではなく、独創的な問題を見いだす問題発見能力やそれに対する問題解決能力及び研究遂行能力を備え、博士の学位論文作成に必要な基礎的能力を持った入学者を求めています。

家政学研究科

家政学研究科には博士前期課程として食物栄養学専攻、生活造形学専攻、生活福祉学専攻、博士後期課程として生活環境学専攻があり、それぞれ独自の入学者受入れの方針を掲げ、主体的に学ぶ意欲のある人材を求めています。

[家政学研究科 食物栄養学専攻 (博士前期課程)]

食物栄養学専攻は、食品学、栄養学、食品衛生学、調理学の4研究分野において、その研究動向や実験・調査の原理を学び、正確な科学知識にもとづいて総合的に評価・分析する能力を身につけ、食を取り巻くさまざまな問題の解決に専門的に取り組み、コーディネートできる教育・研究者の育成を目標としています。そのために、大学院入学者選抜試験においては上記4分野における専門的知識・技術を有するすぐれた人材を求めます。

[家政学研究科 生活造形学専攻 (博士前期課程)]

生活造形学専攻は、造形意匠〈デザイン〉学、アパレル造形学、空間造形学の3研究領域において、それぞれの専門性を高めるとともに、生活造形に関わる様々な問題に対して総合的に解決できる能力を持って社会で活躍できる研究者・職業人を育成しようとするものです。そのために造形意匠〈デザイン〉学、アパレル造形学、空間造形学領域に関わる専門的知識または創造的能力を有するすぐれた人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[家政学研究科 生活福祉学専攻 (博士前期課程)]

生活福祉学専攻は、家政学が探求してきた衣、食、住、健康等に関する生活学を基本に、介護、医学、そして福祉の知見を統合して生活を総合的かつ科学的な視点から研究し、快適な生活を創造するための方法や技術を身につけ、その成果を実践できる高度で専門的な能力を有する研究者・職業人の育成を旨とします。そのために、福祉的視点に立った自らの研究分野に関連する専門的知識を有し、今日の研究課題に取り組む意欲のある人材を、大学院入学者選抜試験において求めます。

[家政学研究科 生活環境学専攻 (博士後期課程)]

生活環境学専攻(博士後期課程)は、食物栄養学または生活造形学の研究領域において、専門性の高い研究を深めるとともに、心豊かな生活環境の創造を目指して家政学研究的総合化を図り、高度の専門的知識を要求される職種において、幅広い見識を持って自在にその能力を発揮できる教育・研究者、さらにはその指導者の育成を目標としています。そのために、大学院入学者選抜試験においては上記領域ごとに専門的知識・技術を有するすぐれた人材を求めます。

現代社会研究科

[現代社会研究科 公共圏創成専攻 (博士前期課程)]

現代社会研究科公共圏創成専攻では、独自の入学者受入れの方針を掲げ、主体的に学ぶ意欲のある人材を求めています。公共圏創成専攻は、現代社会の諸問題の解決に向けて、主体的に公共圏を創成していくための研究能力と実務能力を開発し、専門性と実践性を兼ね備えた職業人、市民活動家、地域リーダー、教育者、研究者などを育成することを目的としています。そのために、地域から、日常生活から、世界と地域の将来を女性の視点に立って見直し、現代社会における幾多の課題を克服するための分析力、地域の力を積極的に活かす組織力、そして政策提言能力の獲得を目指す意欲ある人材を、筆記試験及び面接による大学院入学者選抜試験において求めます。

[現代社会研究科 公共圏創成専攻 (博士後期課程)]

現代社会研究科公共圏創成専攻では、独自の入学者受入れの方針を掲げ、主体的に学ぶ意欲のある人材を求めています。公共圏創成専攻は、現代社会の諸問題の解決に向けて、主体的に公共圏を創成していくための高度な研究能力と実務能力を開発し、高度の専門性と実践性を兼ね備えた専門的職業人、市民活動家、地域リーダー、教育者、研究者などを育成することを目的としています。そのために、地域から、日常生活から、世界と地域の将来を女性の視点に立って見直し、現代社会における幾多の課題を克服するための分析力、地域の力を積極的に活かす組織力、そして政策提言能力の獲得を目指す意欲ある人材を、筆記試験及び面接による大学院入学者選抜試験において求めます。

法学研究科

[法学研究科 法学専攻 (修士課程)]

本研究科の教育目標を踏まえつつ、本研究科では、公務員職、自治行政、企業法務、国際機関さらにはパラリーガルの領域において高い知見を持つ人材を育成するために、それらの領域に進む人材に対応した履修モデルを用意しています。それらの履修モデルで学修を進める法的基礎学力を有するとともに、ジェンダー視点やグローバル基準としての人権理解に強い関心を有する人材を求めます。

また、公共法務、企業法務およびジェンダー法に関連する科目に関して、社会人の再教育を担うことも本研究科のもう一つの目的です。働きながら学びキャリアアップを望む社会人に門戸を開くために、平日6講時(18時10分～19時40分)および土曜日開講について希望者と相談の上で実施します。入学試験では、社会経験や研究計画書などを重視した社会人選考を実施します。

博士前期課程・修士課程 一般選抜要項

I. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で女子に限る。

- (1) 大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込の者。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込の者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込の者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または2025年3月までに学位を授与される見込の者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 大学に3年以上在学（3年修了見込の者を含む）し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。
- (10) その他、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で2025年3月までに22歳に達する者。

注1) 出願資格第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号、第9号の該当者は、出願期間前に必ず入試広報課にご連絡ください。

注2) 出願資格第10号（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等）により「個別の入学資格審査」を希望する場合は、所定の期日までに申し出てください。（P.31参照）

II. 専攻及び募集人員

研究科	専攻	課程	研究領域	募集人員
文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	国文学	6名
			国語学	
			漢文学	
	英文学専攻	博士前期課程	英米文学	6名
			英語学	
	史学専攻	博士前期課程	日本史学	6名
東洋史学				
西洋史学				
発達教育学研究科	教育学専攻	博士前期課程		6名(※1)
	心理学専攻	博士前期課程	心理学 臨床心理学	8名
	表現文化専攻	修士課程		8名
	児童学専攻	修士課程		6名
家政学研究科	食物栄養学専攻	博士前期課程		6名
	生活造形学専攻	博士前期課程	造形意匠〈デザイン〉学	6名
			アパレル造形学 空間造形学	
生活福祉学専攻	博士前期課程		4名(※1)	
現代社会研究科	公共圏創成専攻(※2)	博士前期課程		6名(※1)
法学研究科	法学専攻	修士課程		5名(※1)

(※1) 発達教育学研究科教育学専攻、家政学研究科生活福祉学専攻、現代社会研究科公共圏創成専攻および法学研究科法学専攻は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、有職の社会人でも修学できる環境を整えています。なお、発達教育学研究科教育学専攻の入学定員6名のうち2名は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置による特別枠です。

(※2) 現代社会研究科公共圏創成専攻は以下の5つの分野に分かれる。①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境。

◎社会人は、一般選抜の他、「社会人特別選抜」を選択することができます。（詳しくはP.20～参照）

◎外国人留学生は、一般選抜の他、「外国人留学生特別選抜」を選択することができます。（詳しくはP.12～参照）

Ⅲ. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
秋季	2024年9月20日(金)～ 10月3日(木)(4日消印有効)	2024年 10月26日(土)	2024年 11月8日(金)	2024年11月11日(月)～ 11月20日(水)(消印有効)
春季	2025年1月15日(水)～ 1月23日(木)(24日消印有効)	2025年 2月15日(土)	2025年 2月21日(金)	2025年2月25日(火)～ 3月7日(金)(消印有効)

◎家政学研究科食物栄養学専攻、現代社会研究科公共圏創成専攻および法学研究科法学専攻出願希望者は、必ず出願期間までに、研究指導を希望する教員と相談してください。相談希望の場合は、京都女子大学入試広報課までご連絡ください。

京都女子大学入試広報課 e-mail: nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

Ⅳ. 出願先・出願書類及び入学検定料

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

1. 出願先 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課
郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。
窓口提出による出願受付は、次のとおりです。
窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）
ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

2. 出願書類

① 志願票／写真票（本学指定様式）

家政学研究科食物栄養学専攻・生活造形学専攻・生活福祉学専攻および法学研究科法学専攻への出願者は、「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ『家政学研究科 教員組織』、『現代社会研究科 教員組織』および『法学研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 出願資格を証明する書類（卒業証明書または卒業見込証明書）

③ 成績証明書（卒業見込者は履修中の科目を含むもの）

④ 論文・研究計画書等

別表のとおり。専攻により異なります。

「研究計画書」は本学指定様式を使用のこと。

《⑤家政学研究科食物栄養学専攻出願者のみ》

⑤ 推薦書

家政学研究科食物栄養学専攻においては、推薦書があれば望ましい。

《⑥発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域出願者のみ》

⑥ 公認心理師試験科目履修証明書

発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域については、卒業大学または卒業予定大学から発行された「公認心理師試験科目履修証明書」（公認心理師法施行規則附則第2条に定める大学における科目の履修がなされている証明書）を提出してください。

《⑦～⑨外国人留学生のみ》

⑦ 市区町村発行の住民票の写し（志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が明記されているもの）

住民票の写しは、市区町村窓口で出願日より3ヶ月以内に交付された原本を提出すること。なお、短期滞在者や外国居住者など、住民登録をしていない者はパスポートのコピー（氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ）を提出してください。

⑧ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の合否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑨ 身元保証書（本学所定用紙）

◎2025年4月1日現在、在職予定者は、入学手続時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要となります。

[④ 論文・研究計画書等の詳細]

専攻等		内 容 等	部 数
文学研究科	国文学専攻	今後の研究計画（2,000字程度）。ただし、春季入試に出願する場合は、卒業論文またはこれに準ずる論文等（8,000字以上のもの）の写しもあわせて提出すること。	3部
	英文学専攻	①卒業論文またはこれに準ずる論文等の写し（卒業論文のない者は1,000～1,500words程度の英文レポート3点以内、卒業論文が英語以外の言語で書かれている者については、卒業論文の英語1,500words程度による要約を添付すること。秋季入試に出願する卒業見込者は、中間論文のような詳しい構想でもよい）	3部
		②研究計画書（進学の目的と研究計画について日本語1,200字程度にまとめたもの）	3部
	史学専攻	秋季 ①卒業論文の構想を含む研究テーマに関する研究計画書（4,000字程度）	3部
		②学部卒業論文等がある者はその写しを参考資料として添付すること	3部
	春季	①卒業論文またはこれに準ずる研究報告・論文等の写し	3部
②研究計画書（1,000字程度）		3部	
発達教育学研究科	教育学専攻	今後の研究計画（2,000字程度）。ただし、春季入試に出願する場合は、卒業論文またはこれに準ずる論文等（8,000字以上のもの）の写しもあわせて提出すること。なお、卒業論文等が日本語以外の言語で書かれている者については、日本語2,000字程度の要約を添付すること。	3部（※）
	心理学専攻	卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文の写し ただし、秋季入試を受験する卒業見込者は、卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文の計画書（2,000字程度）。 なお、卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文がない者については、当該研究領域のテーマについての研究論文（400字詰原稿用紙30枚程度）を執筆し提出すること。	3部（※）
	表現文化専攻	今後の研究計画（1,000字程度）	3部（※）
	児童学専攻	①卒業論文またはこれに準ずる研究報告書・論文等の写し ただし、秋季入試に出願する卒業見込者は、卒業論文またはこれに準ずる論文の計画（2,000字程度）	1部
②入学後の研究計画（1,000字程度）		3部（※）	
家政学研究科	食物栄養学専攻	志望理由および入学後の研究計画（日本語の場合は、2,000字程度。英語の場合は、1,000words程度）	1部
	生活造形学専攻	志望理由および入学後の研究計画（1,000字程度）	1部
	生活福祉学専攻	志望理由および入学後の研究計画（1,000字程度）	1部
現代社会研究科 公共圏創成専攻	今後の研究計画（1,500字程度）	3部	
法学研究科 法学専攻	今後の研究計画（1,500字程度）	3部	

（※）本学卒業見込者は1部

3. 入学検定料 30,000円

（志願票添付の振込依頼書により銀行振込。またはコンビニエンスストアでの振込も可。P.27参照）

提出された書類及び納入された入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

V. 試験会場（集合場所・集合時間）

集合場所 京都女子大学（受験票にて通知します）

集合時間 試験開始20分前

VI. 試験科目及び試験時間

[文学研究科]

科目・時間		外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
専攻		8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～
国文学専攻	秋季	英・独・仏・中国語のうちから1科目選択（辞書使用可但し電子辞書を除く）	国文学・国語学・漢文学（※1）	研究計画等についての口述試問

（※1）国文学専攻の専門科目筆記試験については、出願研究領域にかかわらず、1問は必ず「国語学」の分野の問題を選択しなければなりません。

科目・時間		外国語筆記試験	口述試験
専攻		11時00分～12時00分	13時00分～（※8）
国文学専攻	春季	英語（辞書使用可但し電子辞書を除く） 漢文をもってこれに替えることができる	研究計画・卒業論文等についての口述試問

科目・時間		外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
専攻		8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～（※8）
英文学専攻	秋季	なし	英語学・英米文学（※2）	研究計画等についての口述試問（英語による試問を含む）
	春季			卒業論文（※3）・研究計画等についての口述試問（英語による試問を含む）
史学専攻 （秋季・春季共通）	日本史学 東洋史学	英・独・仏・中国語のうちから1科目選択（辞書使用可但し電子辞書を除く）	史料・文献読解 および論述	研究計画・卒業論文等についての口述試問
	西洋史学	英・独・仏語のうちから1科目選択（辞書使用可但し電子辞書を除く）		

（※2）英語の文献読解と英語での論述を含む。

（※3）卒業論文のない者、あるいは卒業論文が英語以外の言語で書かれている者については、この要項のP.5 [「IV.出願先・出願書類及び検定料」2.出願書類 ④論文・研究計画書等の詳細]を参照してください。

[発達教育学研究科]（秋季・春季共通）

科目・時間		専門科目筆記試験	外国語筆記試験	口述試験
専攻・領域		8時50分～10時20分	10時35分～11時35分	13時00分～（※8）
教育学専攻	教育学		英語（辞書使用可但し電子辞書を除く）	卒業論文等についての口述試問（資料持込可）
心理学専攻 心理学領域	心理学		英語（辞書使用可但し電子辞書を除く）	卒業論文等についての口述試問（資料持込可）
心理学専攻 臨床心理学領域	臨床心理学		英語（辞書使用可但し電子辞書を除く）	卒業論文等についての口述試問（資料持込可）
児童学専攻	児童学（※4）		英語（辞書使用可但し電子辞書を除く）	卒業論文・研究計画等についての口述試問（資料持込可）

（※4）児童学専攻の専門科目筆記試験については、出願時に「児童発達学」「児童保健学」「児童文化学」の中から1科目を選択してください。

科目・時間 専攻	外国語筆記試験 8時50分～9時50分	表現文化に関する専門試験		口述試験 13時00分～
		専門試験1 10時10分～11時00分	専門試験2(※5) 11時10分～12時00分	
表現文化専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	表現文化に関する 共通筆記試験問題	① 言語 ② 音楽 ③ 造形 ④ 運動・舞踊 【①～④より一つ選択】	研究計画等 に関する 口述試問

(※5) 専門試験2については、出願時に上記①～④の中からいずれか一つを選択してください。

①～④の試験内容は以下の通り。

① 言語(筆記試験)

② 音楽(A～Dの中から一つ選択)

A【筆記試験】

B【ピアノ実技】時代の異なる任意の楽曲を2曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。

C【音楽実技】異なる作曲家による任意の楽曲を3曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。

なお、伴奏者は各自で用意すること。

D【作曲実技】出願時に自作品(楽譜・音源等)2～3曲を提出すること。試験当日、作品の意図や創作表現に対する考え方等についての説明を求める。

③ 造形(A、Bのいずれか一つ選択)

A【筆記試験】

B【造形表現実技】出願時に自作品(卒業制作に相当する作品とその為のデッサンやエスキースを含む)を作品ファイル(写真等10枚程度、作品写真には①作品名②サイズ③材質・技法を明記すること)にまとめて提出すること。試験当日、作品の意図や制作表現に対する考え方等についての説明を求める。

④ 運動・舞踊(A、Bのいずれか一つ選択)

A【筆記試験】

B【運動・舞踊実技】出願時に自身の運動・舞踊経験についての記録ファイル(①実技業績の一覧表、②DVD映像)を提出すること。①の大会やコンクール等の業績については、成績等と自身の役割を明記し、プログラムや表彰状等がある場合は、コピー(写真)を添付する。②のDVD映像については日時と場所を明記し、主要な業績5点以内とする。試験当日、提出した記録ファイルについての説明を求める。

[家政学研究科](秋季・春季共通)

科目・時間 専攻	外国語筆記試験 8時50分～10時20分	専門科目筆記試験 10時35分～12時05分	口述試験 13時00分～(※8)
食物栄養学専攻	英語 (英和辞書1冊のみ持込可 但し電子辞書を除く)	志望専攻に関する試験	志望専攻に関する口述試問
生活造形学専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	志望研究領域に関する試験	研究計画・卒業論文等に関する口述試問 (論文等以外に作品があれば持参可)
生活福祉学専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	志望専攻に関する試験	志望専攻に関する口述試問

[現代社会研究科](秋季・春季共通)

科目・時間 専攻	専門科目筆記試験 8時50分～10時20分	外国語筆記試験 10時35分～12時05分	口述試験 13時00分～(※8)
公共圏創成専攻	専門科目に関する試験 (※6)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画等に関する口述試問

(※6) 専門科目筆記試験は分野ごとに以下の科目から1科目を選択して解答。(出願時選択)

分野	専門科目
人間・文化	「哲学・倫理学」「宗教学」「心理学」「精神医学」「文化人類学」
家族・地域社会	「社会学」
国際・政治・行政	「政治学」「国際関係論」「国際経済学」
経済・経営	「経済学」「経営学(「会計学」を含む)」
情報・環境	「情報学」「環境学」

[法学研究科] (秋季・春季共通)

科目・時間 専攻	専門科目筆記試験	外国語筆記試験	口述試験
		8時50分～10時20分	10時35分～12時05分
法 学 専 攻	専門科目に関する試験(※7) (六法または条約集を貸与する)	英語 (英和辞書を貸与する)	研究計画等に関する口述試問

(※7) 専門科目筆記試験は「憲法」、「行政法」、「国際人権法」、「国際私法」、「刑法」、「民法」、「商法」、「刑事訴訟法」、「労働法」、「ジェンダー法」、「平和研究」の中から1科目を選択して解答。(出願時選択)

(※8) 春季口述試験開始時間について、博士後期課程において出願者があった場合は、博士前期課程の口述試験は博士後期課程受験者の口述試験が終了し次第の開始となります。

Ⅶ. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

博士後期課程 選抜要項

I. 出願資格

次の各号の一に該当する者で女子に限る。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者、または2025年3月取得見込の者。
- (2) 外国において修士の学位またはこれに相当する学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込の者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を得た者、または2025年3月取得見込の者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者(大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者)。
- (5) その他、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で2025年3月までに24歳に達する者。

注1) 出願資格第2号、第3号、第4号の該当者は、出願期間前に必ず入試広報課にご連絡ください。

注2) 出願資格第5号「個別の入学資格審査」の審査希望者は、所定の期日までに申し出てください。(P.31参照)

II. 専攻及び募集人員

研究科	専攻	研究領域	募集人員
文学研究科	国文学専攻	国文学	3名
		国語学	
		漢文学	
	英文学専攻	英文学	3名
		米文学	
		英語学	
	史学専攻	日本史学	3名
		東洋史学	
		西洋史学	
発達教育学研究科	教育学専攻	教育学	3名
		心理学	
家政学研究科	生活環境学専攻	食物栄養学	2名
		生活造形学	
現代社会研究科	公共圏創成専攻(※1)		3名(※2)

(※1) 現代社会研究科公共圏創成専攻は以下の5つの分野に分かれる。①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境。

(※2) 現代社会研究科公共圏創成専攻は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、有職の社会人でも修学できる環境を整えています。

III. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表	手続期間
2025年1月15日(水)～ 1月23日(木) (24日消印有効)	2025年2月15日(土)	2025年2月21日(金)	2025年2月25日(火)～ 3月7日(金) (消印有効)

◎家政学研究科生活環境学専攻食物栄養学領域及び現代社会研究科公共圏創成専攻出願希望者は、必ず出願期間までに、研究指導を希望する教員と相談してください。相談希望の場合は、京都女子大学入試広報課までご連絡ください。

京都女子大学入試広報課 e-mail: nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

IV. 出願先・出願書類及び入学検定料

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

1. 出願先 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課
郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。
窓口提出による出願受付は、次のとおりです。
窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）
ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

2. 出願書類

① 志願票／写真票（本学指定様式）

家政学研究科生活環境学専攻出願者は、「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ『家政学研究科 教員組織』および『現代社会研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 出願資格を証明する書類（学位取得証明書または学位取得見込証明書等）

③ 成績証明書（最終出身学校のもの）

④ 論文等 3部（修士論文またはこれに準ずる論文の写し。その他学会誌等に掲載された論文等の写し。）

◎家政学研究科生活環境学専攻出願者については、修士論文の要旨または、その他業績があればその写しでも可。

⑤ 研究計画書等 3部

（「研究計画書」は本学指定様式を使用のこと。日本語3,000字程度。英文学専攻は英語800words程度でも可。）

《⑥家政学研究科生活環境学専攻食物栄養学領域出願者のみ》

⑥ 推薦書

家政学研究科生活環境学専攻食物栄養学領域においては、推薦書があれば望ましい。

《⑦～⑨外国人留学生のみ》

⑦ 市区町村発行の住民票の写し（志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が明記されているもの）

住民票の写しは、市区町村窓口で出願日より3ヶ月以内に交付された原本を提出すること。なお、短期滞在者や外国居住者など、住民登録をしていない者はパスポートのコピー（氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ）を提出してください。

⑧ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の可否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑨ 身元保証書（本学所定用紙）

◎2025年4月1日現在、在職予定者は、入学手続時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要となります。

3. 入学検定料 30,000円

（志願票添付の振込依頼書により銀行振込。またはコンビニエンスストアでの振込も可。P.27参照）

提出された書類及び納入された入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

V. 試験会場（集合場所・集合時間）

集合場所 京都女子大学（受験票にて通知します）

集合時間 試験開始20分前

VI. 試験科目及び試験時間

[文学研究科国文学専攻]

科目・時間	専門科目筆記試験	口述試験
研究領域	10時00分～12時00分	13時00分～
国文学 国語学 漢文学	国文学・国語学・漢文学に関する文献読解または論述	修士論文・研究計画等についての口述試問

[文学研究科英文学専攻]

科目・時間	専門科目筆記試験		口述試験
研究領域	8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～
英文学 米文学 英語学	英語小論文	専攻分野に関する筆記試験	修士論文・研究計画等についての口述試問

[文学研究科史学専攻]

科目・時間	専門科目筆記試験	口述試験
研究領域	10時00分～12時00分	13時00分～
日本史学 東洋史学 西洋史学	史料読解および論述 史料または外国語文献読解（英・中のうち1カ国語）および論述 外国語文献読解（英・独・仏のうち1カ国語）および論述	修士論文・研究計画等についての口述試問 （資料持込可）

[発達教育学研究科教育学専攻]

科目・時間	専門科目筆記試験	外国語筆記試験	口述試験
研究領域	8時50分～10時20分	10時35分～11時35分	12時30分～
教育学 心理学	志望研究領域に関する試験	英語 （辞書使用可 但し電子辞書を除く）	修士論文・研究計画等についての口述試問 （資料持込可）

[家政学研究科生活環境学専攻]

科目・時間	専門科目筆記試験	口述試験
研究領域	10時35分～12時05分	13時00分～
食物栄養学 生活造形学	志望研究領域に関する試験※ （英語を含む [辞書使用可 但し電子辞書を除く]） 志望研究領域に関する試験	志望研究領域に関する口述試問

※本学の家政学部食物栄養学専攻博士前期課程を修了した者及び2025年3月修了見込の者は、専門科目筆記試験を免除します。

[現代社会研究科公共圏創成専攻]

科目	口述試験
時間	13時00分～
志望する分野および修士論文・研究計画等についての口述試問	

◎外国人留学生の方は、全研究科とも「外国人留学生特別選抜」を選択することができます。（詳しくはP.12～参照）

VII. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

外国人留学生特別選抜要項（博士前期課程・修士課程）

I. 出願資格

外国の国籍を有し、次の各号のいずれかに該当する女子。

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込の者。
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込の者。
- (3) その他、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で2025年3月までに22歳に達する者。

II. 第1次選考（※第2次選考出願時点で日本在住でない、外国居住者のみ）

提出された書類にもとづく書類審査—入学検定料は必要ありません。

1. 出願期間及び選考結果について

課程	日程	出願期間	選考結果発表日
博士前期課程 修士課程	秋季	2024年8月15日(木)～8月22日(木) (消印有効)	2024年9月13日(金)
	春季	2024年11月22日(金)～11月29日(金) (消印有効)	2024年12月19日(木)

◎第2次選考出願時点で日本在住者は、第1次選考を免除する。

◎法学研究科は、外国人留学生特別選抜はありません。

2. 出願先

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課

郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。

窓口提出による出願受付は、次のとおりです。

窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）

ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

3. 出願書類 ◎本学所定用紙については、直接入試広報課にご請求ください。e-mail : nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

① 第1次選考志願票（本学所定用紙）

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ『現代社会研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 出願資格を証明する書類（最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書）

③ 成績証明書（最終出身学校のもの）

④ 推薦書（最終出身学校長または指導教授が発行する推薦書。本学所定用紙）

⑤ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の可否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑥ 身元保証書（本学所定用紙）

⑦ パスポートのコピー

氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページを提出してください。

⑧ 研究計画等 1部

志望研究科への進学目的及び入学後の研究計画について書かれたもの（日本語で1,200字程度。様式は任意）

《⑨ 発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域出願者のみ》

⑨ 公認心理師試験科目履修証明書

発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域については、卒業大学または卒業予定大学から発行された「公認心理師試験科目履修証明書」（公認心理師法施行規則附則第2条に定める大学における科目の履修がなされている証明書）を提出してください。

《⑩ 現代社会研究科公共圏創成専攻出願者のみ》

⑩ 卒論の原本および日本語要約

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、出身大学もしくは卒業予定大学で執筆した卒業論文（若しくはそれに代わる成果物）の原本のコピーとその日本語要約をそれぞれ1部提出してください。卒業論文に代わる成果物について不明な点がある場合は、あらかじめ志望する指導教員に問い合わせてください。

Ⅲ. 第2次選考（第1次選考合格者を対象とした筆記試験・口述試験。第1次選考を免除された者を含む。）

1. 選考日程

課程	日程	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
博士前期課程 修士課程	秋季	2024年9月20日(金)～ 10月3日(木)(4日消印有効)	2024年 10月26日(土)	2024年 11月8日(金)	2024年11月11日(月)～ 11月20日(水)(消印有効)
	春季	2025年1月15日(水)～ 1月23日(木)(24日消印有効)	2025年 2月15日(土)	2025年 2月21日(金)	2025年2月25日(火)～ 3月7日(金)(消印有効)

◎家政学研究科食物栄養学専攻及び現代社会研究科公共圏創成専攻出願希望者は、出願期間までに必ず、研究指導を希望する教員と相談してください。相談希望の場合は、京都女子大学入試広報課までご連絡ください。

京都女子大学入試広報課 e-mail: nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

◎第2次選考出願時点で日本在住でない、外国居住者は第1次選考が必要です。

◎法学研究科は、外国人留学生特別選抜はありません。

2. 出願先

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課

郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。

窓口提出による出願受付は、次のとおりです。

窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）

ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

3. 出願書類

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

① 第2次選考志願票／写真票（日本語、自筆に限る。本学指定様式）

家政学研究科食物栄養学専攻・生活造形学専攻・生活福祉学専攻への出願者は、「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

現代社会研究科公共圏創成専攻への出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ「家政学研究科 教員組織」および「現代社会研究科 教員組織」にてご確認ください。）

② 論文・研究計画書等 3部

別表の通り、志望研究科・専攻の指定するもの。日本語のものに限る。ただし、英文学専攻ならびに食物栄養学専攻については英語または日本語。「研究計画書」は本学指定様式を使用のこと。

◎2025年4月1日現在、在職予定者は、入学手続時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要となります。

—————第一次選考を免除された出願者は次の書類をあわせて提出すること—————

③ 出願資格を証明する書類（最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書）

④ 成績証明書（最終出身学校のもの）

⑤ 推薦書（最終出身学校長または指導教授が発行する推薦書。本学所定用紙）

⑥ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の合否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑦ 身元保証書（本学所定用紙）

⑧ 市区町村発行の住民票の写し（志願者本人の国籍、在留資格、在留期間が明記されているもの）

住民票の写しは、市区町村窓口で出願日より3ヶ月以内に交付された原本を提出すること。

《⑨発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域出願者のみ》

⑨ 公認心理師試験科目履修証明書

発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域については、卒業大学または卒業予定大学から発行された「公認心理師試験科目履修証明書」（公認心理師法施行規則附則第2条に定める大学における科目の履修がなされている証明書）を提出してください。

《⑩現代社会研究科公共圏創成専攻出願者のみ》

⑩ 卒論の原本および日本語要約

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、出身大学もしくは卒業予定大学で執筆した卒業論文（若しくはそれに代わる成果物）の原本のコピーとその日本語要約をそれぞれ1部提出してください。卒業論文に代わる成果物について不明な点がある場合は、あらかじめ志望する指導教員に問い合わせてください。

[② 論文・研究計画書等の詳細]

専攻等		内容等	部数
文学研究科	国文学専攻	今後の研究計画（2,000字程度）。ただし、春季入試に出願する場合は、卒業論文またはこれに準ずる論文等（8,000字以上のもの）の写しもあわせて提出すること。	3部
	英文学専攻	①卒業論文またはこれに準ずる論文等の写し（卒業論文のない者は1,000～1,500words程度の英文レポート3点以内、卒業論文が英語以外の言語で書かれている者については、卒業論文の英語1,500words程度による要約を添付すること。秋季入試に出願する卒業見込者は、中間論文のような詳しい構想でもよい）	3部
		②研究計画書（進学の目的と研究計画について日本語1,200字程度にまとめたもの）	3部
	史学専攻	秋季 ①卒業論文の構想を含む研究テーマに関する研究計画書（4,000字程度）	3部
		②学部卒業論文等がある者はその写しを参考資料として添付すること	3部
	春季	①卒業論文またはこれに準ずる研究報告・論文等の写し	3部
②研究計画書（1,000字程度）		3部	
発達教育学研究科	教育学専攻	今後の研究計画（2,000字程度）。ただし、春季入試に出願する場合は、卒業論文またはこれに準ずる論文等（8,000字以上のもの）の写しもあわせて提出すること。なお、卒業論文等が日本語以外の言語で書かれている者については、日本語2,000字程度の要約を添付すること。	3部（※）
	心理学専攻	卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文の写し ただし、秋季入試を受験する卒業見込者は、卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文の計画書（2,000字程度） なお、卒業論文（当該研究領域の論文）またはこれに準ずる論文がない者については、当該研究領域のテーマについての研究論文（400字詰原稿用紙30枚程度）を執筆し提出すること	3部（※）
	表現文化専攻	今後の研究計画（1,000字程度）	3部（※）
	児童学専攻	①卒業論文またはこれに準ずる研究報告書・論文等の写し ただし、秋季入試に出願する卒業見込者は、卒業論文またはこれに準ずる論文の計画（2,000字程度）	1部
		②入学後の研究計画（1,000字程度）	3部（※）
家政学研究科	食物栄養学専攻	志望理由および入学後の研究計画（日本語の場合は、2,000字程度、英語の場合は、1,000words程度）	1部
	生活造形学専攻	志望理由および入学後の研究計画（1,000字程度）	1部
	生活福祉学専攻	志望理由および入学後の研究計画（1,000字程度）	1部
現代社会研究科 公共圏創成専攻	今後の研究計画（1,500字程度）	3部	

(※) 本学卒業見込者は1部

4. 入学検定料 30,000円

(第2次選考志願票添付の振込依頼書により銀行振込。またはコンビニエンスストアでの振込も可。P.27参照)

◎提出された書類及び納入された入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

5. 試験会場（集合場所・集合時間）

集合場所 京都女子大学（受験票にて通知します）

集合時間 試験開始20分前

6. 試験科目及び試験時間

◎法学研究科は、外国人留学生特別選抜はありません。

[文学研究科]

科目・時間		外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
専攻		8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～
国文学専攻	秋季	日本語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	国文学・国語学・漢文学 (※1)	研究計画等についての 口述試問

(※1) 国文学専攻の秋季専門科目筆記試験については、出願研究領域にかかわらず、1問は必ず「国語学」の分野の問題を選択しなければなりません。

科目・時間		外国語筆記試験	口述試験
専攻		11時00分～12時00分	13時00分～(※8)
国文学専攻	春季	日本語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画・卒業論文等についての口 述試問

科目・時間		外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
専攻		8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～(※8)
英文学専攻	秋季	なし	英語学・英米文学 (※2)	研究計画等についての 口述試問 (英語による試問を含む)
	春季			卒業論文(※3)・研究計 画等についての口述試問 (英語による試問を含む)
史学専攻 (秋季・春季共通)	日本史学 東洋史学	英・独・仏・中国語の うちから1科目選択 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	史料・文献読解 および論述	研究計画・卒業論文等 についての口述試問
	西洋史学	英・独・仏語のうちから 1科目選択 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)		

(※2) 英語の文献読解と英語での論述を含む。

(※3) 卒業論文のない者、あるいは卒業論文が英語以外の言語で書かれている者については、この要項のP.14 [[Ⅲ. 第2次選考] 3. 出願書類 ②論文・研究計画書等の詳細] を参照してください。

[発達教育学研究科] (秋季・春季共通)

科目・時間		専門科目筆記試験	外国語筆記試験	口述試験
専攻・領域		8時50分～10時20分	10時35分～11時35分	13時00分～(※8)
教育学専攻	教育学	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	卒業論文等についての 口述試問(資料持込可)
心理学専攻 心理学領域	心理学	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	卒業論文等についての 口述試問(資料持込可)
心理学専攻 臨床心理学領域	臨床心理学	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	卒業論文等についての 口述試問(資料持込可)
児童学専攻	児童学 (※4)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	卒業論文・研究計画等 についての口述試問(資料持込可)

(※4) 児童学専攻の専門科目筆記試験については、出願時に「児童発達学」「児童保健学」「児童文化学」の中から1科目を選択してください。

科目・時間	外国語筆記試験	表現文化に関する専門試験		口述試験
		専門試験 1	専門試験 2 (※5)	
専攻	8時50分～9時50分	10時10分～11時00分	11時10分～12時00分	13時00分～
表現文化専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	表現文化に関する 共通筆記試験問題	①言語 ②音楽 ③造形 ④運動・舞踊 【①～④の中から一つ選択】	研究計画等に関する口述試問

(※5) 専門試験2については、出願時に上記①～④の中からいずれか一つを選択してください。

①～④の試験内容は以下の通り。

① 言語 (筆記試験)

② 音楽 (A～Dの中から一つ選択)

A 【筆記試験】

B 【ピアノ実技】 時代の異なる任意の楽曲を2曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。

C 【音楽実技】 異なる作曲家による任意の楽曲を3曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。
なお、伴奏者は各自で用意すること。

D 【作曲実技】 出願時に自作品 (楽譜・音源等) 2～3曲を提出すること。試験当日、作品の意図や創作表現に対する考え方等についての説明を求める。

③ 造形 (A、Bのいずれか一つ選択)

A 【筆記試験】

B 【造形表現実技】 出願時に自作品 (卒業制作に相当する作品とその為のデッサンやエスキースを含む) を作品ファイル (写真等10枚程度、作品写真には①作品名 ②サイズ ③材質・技法を明記すること) にまとめて提出すること。
試験当日、作品の意図や制作表現に対する考え方等についての説明を求める。

④ 運動・舞踊 (A、Bのいずれか一つ選択)

A 【筆記試験】

B 【運動・舞踊実技】 出願時に自身の運動・舞踊経験についての記録ファイル (①実技業績の一覧表、②DVD映像) を提出すること。①の大会やコンクール等の業績については、成績等と自身の役割を明記し、プログラムや表彰状等がある場合は、コピー (写真) を添付する。②のDVD映像については日時と場所を明記し、主要な業績5点以内とする。試験当日、提出した記録ファイルについての説明を求める。

[家政学研究科] (秋季・春季共通)

科目・時間	外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
専攻	8時50分～10時20分	10時35分～12時05分	13時00分～(※8)
食物栄養学専攻	英語 (英和辞書1冊のみ持込可 但し電子辞書を除く)	志望専攻に関する試験	志望専攻に関する口述試問
生活造形学専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	志望研究領域に関する試験	研究計画・卒業論文等に関する口述試問 (論文等以外に作品があれば持参可)

科目・時間	筆記試験 (※6)	専門科目筆記試験 (※7)	口述試験
専攻	8時50分～10時20分	10時35分～12時05分	13時00分～
生活福祉学専攻	英語 または 小論文	志望専攻に関する試験	志望専攻に関する口述試問

(※6) 筆記試験は、「英語」または「小論文」のいずれかを出願時に選択してください。

(※7) 専門科目筆記試験は、「生活系」「福祉系」のいずれかを出願時に選択してください。

「生活系」: 衣食住に関する内容 「福祉系」: 社会福祉、介護福祉に関する内容

[現代社会研究科]

科目・時間	筆記試験	口述試験
専攻	10時35分～12時05分	13時00分～(※8)
公共圏創成専攻	小論文	研究計画等に関する口述試問

(※8) 口述試験開始時間について、博士後期課程において出願者があった場合は、博士前期課程の口述試験は博士後期課程受験者の口述試験が終了し次第の開始となります。

◎ [全研究科共通] 外国語筆記試験については、その言語が母語であっても認めます。

VII. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

私費外国人留学生対象の奨学金制度を設けています。詳細は本学ホームページでご確認ください。

外国人留学生特別選抜要項（博士後期課程）

I. 出願資格

外国の国籍を有し、次の各号のいずれかに該当する女子。

- (1) 外国において修士の学位またはこれに相当する学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込の者。
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を有する者、または2025年3月取得見込の者。
- (3) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込の者。
- (4) その他、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で2025年3月までに24歳に達する者。

II. 第1次選考（※第2次選考出願時点で日本在住でない、外国居住者のみ）

提出された書類にもとづく書類審査—入学検定料は必要ありません。

1. 出願期間及び選考結果について

課程	出願期間	選考結果発表日
博士後期課程	2024年11月22日(金)～11月29日(金) (消印有効)	2024年12月19日(木)

◎博士後期課程に出願する者で、京都女子大学大学院（博士前期課程または修士課程）に、外国人留学生入試により入学し、修士の学位を取得した者（取得見込を含む）については、第1次選考を免除する。

◎第2次選考出願時点で日本在住者は、第1次選考を免除する。

2. 出願先

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課

郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。

窓口提出による出願受付は、次のとおりです。

窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）

ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

3. 出願書類 ◎本学所定用紙については、直接入試広報課にご請求ください。e-mail : nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

① 第1次選考志願票（本学所定用紙）

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ『現代社会研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 出願資格を証明する書類（学位取得証明書または学位取得見込証明書等）

③ 成績証明書（最終出身学校のもの）

④ 推薦書（最終出身学校長または指導教授が発行する推薦書。本学所定用紙）

⑤ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の可否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑥ 身元保証書（本学所定用紙）

⑦ パスポートのコピー

氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページを提出してください。

⑧ 研究計画等 1部

志望研究科への進学目的及び入学後の研究計画について書かれたもの（日本語で1,200字程度。様式は任意）

III. 第2次選考（第1次選考合格者を対象とした筆記試験・口述試験。第1次選考を免除された者を含む。）

1. 選考日程

課程	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
博士後期課程	2025年1月15日(水)～ 1月23日(木) (24日消印有効)	2025年 2月15日(土)	2025年 2月21日(金)	2025年2月25日(火)～ 3月7日(金) (消印有効)

◎博士後期課程は春季のみです。

◎家政学研究科生活環境学専攻食物栄養学領域及び現代社会研究科公共圏創成専攻出願希望者は、出願期間までに必ず、研究指導を希望する教員と相談してください。相談希望の場合は、京都女子大学入試広報課までご連絡ください。

京都女子大学入試広報課 e-mail : nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

◎第2次選考出願時点で日本在住でない、外国居住者は第1次選考が必要です。

2. 出願先

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課
郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。
窓口提出による出願受付は、次のとおりです。
窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）
ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

3. 出願書類

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

① 第2次選考志願票／写真票（日本語、自筆に限る。本学指定様式）

家政学研究科生活環境学専攻への出願者は、「研究指導を希望する教員名」を記入してください。
現代社会研究科公共圏創成専攻への出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。
（教員については、本学ホームページ『家政学研究科 教員組織』および『現代社会研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 論文等 3部（修士論文またはこれに準ずる論文の写し。その他学会誌等に掲載された論文等の写し。）

※家政学研究科生活環境学専攻出願者については、修士論文の要旨または、その他業績があればその写しでも可。

③ 研究計画書等 3部

「研究計画書」は本学指定様式を使用のこと。日本語3,000字程度。英文学専攻は英語800words程度でも可。

◎2025年4月1日現在、在職予定者は、入学手続き時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要となります。

—————第一次選考を免除された出願者は次の書類をあわせて提出すること—————

④ 出願資格を証明する書類（学位取得証明書または学位取得見込証明書等）

⑤ 成績証明書（最終出身学校のもの）

⑥ 推薦書（最終出身学校長または指導教授が発行する推薦書。本学所定用紙）

⑦ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の合否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑧ 身元保証書（本学所定用紙）

⑨ 市区町村発行の住民票の写し（志願者本人の国籍、在留資格、在留期間が明記されているもの）

住民票の写しは、市区町村窓口で出願日より3ヶ月以内に交付された原本を提出すること。

4. 入学検定料 30,000円

（第2次選考志願票添付の振込依頼書により銀行振込。またはコンビニエンスストアでも振込可。P.27参照）

◎提出された書類及び納入された入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

5. 試験会場（集合場所・集合時間）

集合場所 京都女子大学（受験票にて通知します）

集合時間 試験開始20分前

6. 試験科目及び試験時間

[文学研究科国文学専攻]

領域	科目・時間	専門科目筆記試験	口述試験
		10時00分～12時00分	13時00分～
国文学		国文学・国語学・漢文学に関する文献読解または論述	修士論文・研究計画等についての口述試問
国語学			
漢文学			

[文学研究科英文学専攻]

領域	科目・時間		口述試験
	専門科目筆記試験		
	8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～
英 文 学	英語小論文	専攻分野に関する筆記試験	修士論文・研究計画等についての口述試問
米 文 学			
英 語 学			

[文学研究科史学専攻]

領域	科目・時間		口述試験
	専門科目筆記試験		
	10時00分～12時00分		13時00分～
日 本 史 学	史料読解および論述		修士論文・研究計画等についての口述試問 (資料持込可)
東 洋 史 学	史料または外国語文献読解（英・中のうち1カ国語）および論述		
西 洋 史 学	外国語文献読解（英・独・仏のうち1カ国語）および論述		

[発達教育学研究科教育学専攻]

領域	科目・時間		口述試験
	専門科目筆記試験	外国語筆記試験	
	8時50分～10時20分	10時35分～11時35分	12時30分～
教 育 学	志望研究領域に関する試験	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	修士論文・研究計画等についての口述試問 (資料持込可)
心 理 学			

[家政学研究科生活環境学専攻]

領域	科目・時間		口述試験
	専門科目筆記試験		
	10時35分～12時05分		13時00分～
食 物 栄 養 学	志望研究領域に関する試験※ (英語を含む [辞書使用可 但し電子辞書を除く])		志望研究領域に関する口述試問
生 活 造 形 学	志望研究領域に関する試験		

※本学の家政学研究科食物栄養学専攻博士前期課程を修了した者及び2025年3月修了見込の者は、専門科目筆記試験を免除します。

[現代社会研究科公共圏創成専攻]

科目	口述試験
時間	13時00分～
志望する分野および修士論文・研究計画等についての口述試問	

※ [全研究科共通] 外国語筆記試験については、その言語が母語であっても認めます。

Ⅶ. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

私費外国人留学生対象の奨学金制度を設けています。詳細は本学ホームページでご確認ください。

社会人特別選抜要項（博士前期課程・修士課程）

I. 出願資格

2025年4月1日現在において、次の各号のいずれかに該当し、かつ社会人経験（職歴の有無は問わない）が3年以上の者で女子に限る。

- (1) 大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込の者。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込の者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込の者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者または2025年3月までに学位を授与される見込の者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2025年3月までに修了見込の者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 大学に3年以上在学（3年修了見込の者を含む）し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。
- (10) その他、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で2025年3月までに25歳に達する者。

注1) 出願資格第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号、第9号の該当者は、出願期間前に必ず入試広報課にご連絡ください。

注2) 出願資格第10号（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等）により「個別の入学資格審査」を希望する場合は、所定の期日までに申し出てください。（P.31参照）

II. 専攻及び募集人員

研究科	専攻	課程	研究領域	募集人員
文学研究科	国文学専攻	博士前期課程	国文学	若干名
			国語学	
			漢文学	
	英文学専攻	博士前期課程	英米文学	若干名
			英語学	
	史学専攻	博士前期課程	日本史学	若干名
東洋史学				
西洋史学				
発達教育学研究科	教育学専攻	博士前期課程		若干名(※1)
	心理学専攻	博士前期課程	心理学	若干名
	表現文化専攻	修士課程	臨床心理学	若干名
	児童学専攻	修士課程		若干名
	食物栄養学専攻	博士前期課程		若干名
家政学研究科	生活造形学専攻	博士前期課程	造形意匠(デザイン)学	若干名
			アパレル造形学	
			空間造形学	
生活福祉学専攻	博士前期課程		若干名(※1)	
現代社会研究科	公共圏創成専攻(※2)	博士前期課程		若干名(※1)
法学研究科	法学専攻	修士課程		若干名(※1)

(※1) 発達教育学研究科教育学専攻、家政学研究科生活福祉学専攻、現代社会研究科公共圏創成専攻および法学研究科法学専攻は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、有職の社会人でも修学できる環境を整えています。なお、発達教育学研究科教育学専攻の入学定員6名のうち2名は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置による特別枠です。

(※2) 現代社会研究科公共圏創成専攻は以下の5つの分野に分かれる。①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境。

Ⅲ. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
秋季	2024年9月20日(金)～ 10月3日(木) (4日消印有効)	2024年 10月26日(土)	2024年 11月8日(金)	2024年11月11日(月)～ 11月20日(水) (消印有効)
春季	2025年1月15日(水)～ 1月23日(木) (24日消印有効)	2025年 2月15日(土)	2025年 2月21日(金)	2025年2月25日(火)～ 3月7日(金) (消印有効)

◎家政学研究科食物栄養学専攻、現代社会研究科公共圏創成専攻および法学研究科法学専攻出願希望者は、必ず出願期間までに、研究指導を希望する教員と相談してください。相談希望の場合は、京都女子大学入試広報課までご連絡ください。

京都女子大学入試広報課 e-mail : nyuushi@kyoto-wu.ac.jp

Ⅳ. 出願先・出願書類及び入学検定料

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

1. 出願先 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課
郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。
窓口提出による出願受付は、次のとおりです。
窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）
ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

2. 出願書類

① 志願票／写真票（本学指定様式）

家政学研究科食物栄養学専攻・生活造形学専攻・生活福祉学専攻および法学研究科法学専攻への出願者は、「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。

（教員については、本学ホームページ『家政学研究科 教員組織』、『現代社会研究科 教員組織』および『法学研究科 教員組織』にてご確認ください。）

② 出願資格を証明する書類（卒業証明書等）

③ 成績証明書（出願資格を満たす最終出身学校のもの。）

④ 研究計画書等 3部

〔研究計画書〕は本学指定様式を使用のこと。2,000字程度。ただし、文学研究科史学専攻志願者は4,000字程度。）

◎卒業論文またはこれに準ずる研究報告・論文等の写し、及び志望専攻（研究領域）に関する著述物がある場合はあわせて提出してください。

⑤ 外国語筆記試験免除に関する書類（該当者のみ。各専攻の試験科目を参照。）

《⑥ 発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域出願者のみ》

⑥ 公認心理師試験科目履修証明書

発達教育学研究科心理学専攻臨床心理学領域については、卒業大学または卒業予定大学から発行された「公認心理師試験科目履修証明書」（公認心理師法施行規則附則第2条に定める大学における科目の履修がなされている証明書）を提出してください。

《⑦～⑨ 外国人留学生のみ》

⑦ 市区町村発行の住民票の写し（志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が明記されているもの）

住民票の写しは、市区町村窓口で出願日より3ヶ月以内に交付された原本を提出すること。なお、短期滞在者や外国居住者など、住民登録をしていない者はパスポートのコピー（氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ）を提出してください。

⑧ 日本語能力証明書

日本語能力試験N1の合否結果通知書（認定書）および成績証明書の写し、または日本留学試験（EJU）の場合は、オンライン上での「成績確認書」をA4用紙にプリントアウトしたもの。

ただし、日本語能力試験、日本留学試験未受験の者は出身大学または日本語教育機関による日本語能力証明書（本学所定用紙）を提出すること。

⑨ 身元保証書（本学所定用紙）

◎2025年4月1日現在在職予定者は、入学手続時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要になります。（法学研究科法学専攻への出願者は、提出の必要はありません。）

3. 入学検定料 30,000円

(志願票添付の振込依頼書により銀行振込、またはコンビニエンスストアでの振込も可。P.27参照)

提出された書類及び納入された入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

V. 試験会場 (集合場所・集合時間)

集合場所 京都女子大学 (受験票にて通知します)

集合時間 試験開始20分前

VI. 試験科目及び試験時間

[文学研究科]

科目・時間		外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
		8時50分～9時50分	10時00分～12時00分	13時00分～
国文学専攻	秋季	英・独・仏・中国語のうちから1科目選択 (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	国文学・国語学・漢文学 (※1)	研究計画等についての口述試問

(※1) 国文学専攻の専門科目筆記試験については、出願研究領域にかかわらず、1問は必ず「国語学」の分野の問題を選択しなければなりません。

科目・時間		外国語筆記試験	口述試験～
		11時00分～12時00分	13時00分～(※10)
国文学専攻	春季	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く) 漢文をもってこれに替えることができる	研究計画・卒業論文等についての口述試問

科目・時間		外国語筆記試験	口述試験
		10時00分～11時20分	13時00分～(※10)
英文学専攻 (秋季・春季共通)		英語 (英作文、英語文献読解) (※2)	研究計画・論文等についての口述試問 (英語による試問を含む)

(※2) TOEFL iBT 79点以上、TOEFL PBT 550点以上、TOEIC 780点以上の者については、外国語筆記試験を免除します。(出願時から遡って2年以内に受験したいいずれかのスコアシートのコピーを提出し、口述試験の際に原本を提示してください。) なお、TOEFL ITP、TOEIC IP での代替はできません。

科目・時間		専門科目筆記試験	口述試験
		10時00分～12時00分	13時00分～(※10)
史学専攻 (秋季・春季共通)		史料・文献読解および論述	研究計画・論文等についての口述試問

[発達教育学研究科] (秋季・春季共通)

科目・時間		専門科目筆記試験	外国語筆記試験	口述試験
		8時50分～10時20分	10時35分～11時35分	13時00分～(※10)
教育学専攻		教育学	英語 (※5) (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画・論文等についての口述試問 (資料持込可)
心理学専攻 心理学領域		心理学	英語 (※5) (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画・論文等についての口述試問 (資料持込可)
心理学専攻 臨床心理学領域		臨床心理学	英語 (※5) (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画・論文等についての口述試問 (資料持込可)
児童学専攻		児童学 (※3)	英語 (※5) (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	研究計画・論文等についての口述試問 (資料持込可)

(※3) 児童学専攻の専門科目筆記試験については、出願時に「児童発達学」「児童保健学」「児童文化学」の中から1科目を選択してください。

科目・時間 専攻	外国語筆記試験	表現文化に関する専門試験		口述試験
		専門試験 1	専門試験 2 (※4)	
	8時50分～9時50分	10時10分～11時00分	11時10分～12時00分	13時00分～
表現文化専攻	英語 (※6) (辞書使用可 但し電子辞書を除く)	表現文化に関する 共通筆記試験問題	① 言語 ② 音楽 ③ 造形 ④ 運動・舞踊 【①～④より一つ選択】	研究計画等 に関する 口述試問

(※4) 専門試験2については、出願時に上記①～④の中からいずれか一つを選択してください。

①～④の試験内容は以下の通り。

① 言語 (筆記試験)

② 音楽 (A～Dの中から一つ選択)

A【筆記試験】

B【ピアノ実技】時代の異なる任意の楽曲を2曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。

C【音楽実技】異なる作曲家による任意の楽曲を3曲以上選んで演奏すること。演奏時間は15～20分程度とする。
なお、伴奏者は各自で用意すること。

D【作曲実技】出願時に自作品 (楽譜・音源等) 2～3曲を提出すること。試験当日、作品の意図や創作表現に対する考え方等についての説明を求める。

③ 造形 (A、Bのいずれか一つ選択)

A【筆記試験】

B【造形表現実技】出願時に自作品 (卒業制作に相当する作品とその為のデッサンやエスキースを含む) を作品ファイル (写真等10枚程度、作品写真には①作品名②サイズ③材質・技法を明記すること) にまとめて提出すること。試験当日、作品の意図や制作表現に対する考え方等についての説明を求める。

④ 運動・舞踊 (A、Bのいずれか一つ選択)

A【筆記試験】

B【運動・舞踊実技】出願時に自身の運動・舞踊経験についての記録ファイル (①実技業績の一覧表、②DVD映像) を提出すること。①の大会やコンクール等の業績については、成績等と自身の役割を明記し、プログラムや表彰状等がある場合は、コピー (写真) を添付する。②のDVD映像については日時と場所を明記し、主要な業績5点以内とする。試験当日、提出した記録ファイルについての説明を求める。

(※5) 発達教育学研究科の外国語筆記試験 (英語) 代替について

次のいずれかに該当する社会人として所属長の承諾書を提出した者については、学会誌・研究会誌及び市販の教育雑誌に掲載された当該領域の研究論文・研究報告書の提出をもって外国語筆記試験に替えることができます。

① 学校教育法第1条に定める学校に5年以上勤務している専任教員 (現職に限る)

② 児童福祉法第7条に定める児童福祉施設または同第12条に定める児童相談所に5年以上勤務している者 (現職に限る)

③ 児童福祉法第18条の4に定める保育士として5年以上勤務している者 (現職に限る)

④ 表現文化専攻出願者のうち、表現文化に関する実務を経験し一定の業績を有する者

⑤ 児童学専攻出願者のうち、児童文化活動等に関する実務を経験し一定の業績を有する者

【家政学研究科】 (秋季・春季共通)

科目・時間 専攻	外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口述試験
	8時50分～10時20分	10時35分～12時05分	13時00分～ (※10)
食物栄養学専攻	英語 (※6) (英和辞書1冊のみ持込可 但し電子辞書を除く)	志望専攻に関する試験	志望専攻に関する口述試問

(※6) 英語の論文の提出により、外国語筆記試験を免除することがあります。

科目・時間 専攻	筆記試験 (※7)	専門科目筆記試験	口述試験
	8時50分～10時20分	10時35分～12時05分	13時00分～ (※10)
生活造形学専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く) または 小論文	志望研究領域に関する試験	研究計画・論文等に関する 口述試問 (論文等以外に作品があれば持参可)
生活福祉学専攻	英語 (辞書使用可 但し電子辞書を除く) または 小論文	志望専攻に関する試験 (※8)	志望専攻に関する口述試問

(※7) 生活造形学専攻・生活福祉学専攻の筆記試験は、「英語」または「小論文」のいずれかを出願時に選択してください。

(※8) 生活福祉学専攻の専門科目筆記試験は、「生活系」「福祉系」のいずれかを出願時に選択してください。

「生活系」: 衣食住に関する内容 「福祉系」: 社会福祉、介護福祉に関する内容

[現代社会研究科] (秋季・春季共通)

専攻	科目・時間	筆記試験(※9)	口述試験
		10時35分～12時05分	13時00分～(※10)
公共圏創成専攻		英語(辞書使用可 但し電子辞書を除く) または 小論文	研究計画等に関する口述試問

(※9) 筆記試験は、「英語」または「小論文」のいずれかを出願時に選択してください。

[法学研究科] (秋季・春季共通)

専攻	科目・時間	筆記試験	口述試験
		10時35分～12時05分	13時00分～
法 学 専 攻		小論文	研究計画等に関する口述試問

(※10) 春季口述試験開始時間について、博士後期課程において出願者があった場合は、博士前期課程の口述試験は博士後期課程受験者の口述試験が終了し次第の開始となります。

Ⅶ. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

博士前期課程・修士課程 学内推薦選抜要項

I. 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者で女子に限る。

1. 京都女子大学（当該専攻の基礎となる学部・学科・専攻）を卒業後3年以内の者、または卒業見込の者で、在学中(卒業見込者は3回生まで)の成績が優秀で大学院での研鑽に強い意欲を有し、出身学科・専攻に所属する教員の推薦を得た者。

2. 本大学院を専願とする者。

◎本入学試験は専願制です。合格した場合、所定の入学手続期間に手続を終え、必ず本学に入学することが条件となります。

II. 募集専攻及び募集人員

研究科	課程	専攻	研究領域	募集人員
文学研究科	博士前期課程	英文学専攻	英米文学	若干名
			英語学	
発達教育学研究科	博士前期課程	教育学専攻		若干名
	博士前期課程	心理学専攻	心理学	若干名
			臨床心理学	
	修士課程	表現文化専攻		若干名
修士課程	児童学専攻		若干名	
家政学研究科	博士前期課程	生活造形学専攻	造形意匠〈デザイン〉学	若干名
			アパレル造形学	
			空間造形学	
	博士前期課程	生活福祉学専攻		若干名
現代社会研究科	博士前期課程	公共圏創成専攻 ^(※1)		若干名
法学研究科	修士課程	法学専攻		若干名

(※1) 現代社会研究科公共圏創成専攻は以下の5つの分野に分かれる。①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境。

【秋季】

Ⅲ. 入試日程〈英文学専攻、教育学専攻、心理学専攻、表現文化専攻、児童学専攻、生活造形学専攻、生活福祉学専攻、公共圏創成専攻、法学専攻〉

- 出願期間 2024年9月20日（金）～10月3日（木）（4日消印有効）
- 試験日 2024年10月26日（土）
- 合格発表 2024年11月8日（金） 合否結果は本人宛に速達便で通知します。
- 手続期間 2024年11月11日（月）～11月20日（水）

【春季】

Ⅲ. 入試日程〈英文学専攻、教育学専攻、表現文化専攻、児童学専攻、生活造形学専攻、公共圏創成専攻、法学専攻〉

- 出願期間 2025年1月15日（水）～1月23日（木）（24日消印有効）
- 試験日 2025年2月15日（土）
- 合格発表 2025年2月21日（金） 合否結果は本人宛に速達便で通知します。
- 手続期間 2025年2月25日（火）～3月7日（金）

IV. 出願先・出願書類及び検定料

出願にあたり、P.27「出願に関する注意事項」を必ずご確認ください。

1. 出 願 先 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学 入試広報課
郵送の場合、出願期間に記載している期日消印有効。簡易書留・速達で送付してください。
窓口提出による出願受付は、次のとおりです。
窓口受付時間：平日午前9時～午後4時（11時10分～12時10分を除く）
ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

2. 出願書類

① 志願票／写真票（本学指定様式）

◎現代社会研究科公共圏創成専攻出願者は、「志望する分野」（①人間・文化、②家族・地域社会、③国際・政治・行政、④経済・経営、⑤情報・環境）と「研究指導を希望する教員名」を記入してください。
（教員については、本学ホームページ「現代社会研究科 教員組織」にてご確認ください。）

② 卒業証明書または卒業見込証明書

③ 成績証明書

④ 研究計画書 3部

進学の目的と研究計画（日本語1,200字程度、本学指定様式を使用のこと。）

⑤ 出身学科・専攻に所属する教員の推薦状（日本語400～600字程度。英語の場合は約250語程度。様式は任意。）

◎児童学専攻は、出身学科・専攻に所属する教員2名（うち1名は、指導教員等の教員、うち1名は出身学科・専攻の学科長。）から連記での推薦状が必要です。

◎2025年4月1日現在、在職予定者は、入学手続き時に「所属長の承諾書」（本学指定様式）の提出が必要となります。

3. 入学検定料 30,000円

（志願票添付の振込依頼書により銀行振込。またはコンビニエンスストアでも振込可。P.27参照）

提出された書類及び納入された検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。

V. 試験会場（集合場所・集合時間）

集合場所：京都女子大学校舎（受験票にて通知します）

集合時間：試験開始20分前

VI. 選考方法及び試験時間

口述試験：研究計画等についての口述試問

（英文学専攻は部分的に英語による質疑応答を含む。）

（生活造形学専攻は口述試験の際に、自分の作品等があれば持参すること。）

開始時間：13時より

VII. 入学手続

P.29「入学手続について」のとおり。

合格者には合格通知とともに手続書類を送付します。手続要項を熟読のうえ、所定の期間内に必ず入学手続（入学手続時納付金の納入）を完了してください。本入学試験は専願制の入学試験ですので、一旦納入された入学手続時納付金（入学金・授業料等）は理由の如何を問わず返還いたしません。

出願に関する注意事項

1. 志願票

- (1) 志願票は『博士前期課程・修士課程志願票』『博士後期課程志願票』『社会人特別選抜志願票』『博士前期課程・修士課程 学内推薦選抜志願票』の4種類があります。該当する志願票を使用してください。なお、上記は外国人留学生第2次選考志願票も兼ねています。
- (2) 「学歴および職歴」欄の学歴は、高等学校卒業より記入してください。
- (3) 受験票は氏名、志望研究科・専攻・研究領域等必要事項を記入してください。
- (4) 訂正箇所には2重線と押印をしてください。
- (5) 出願後、志願票に記載された住所宛に各関係書類を郵送します。住所の変更等がある場合は、すみやかに入試広報課まで連絡してください。

2. 卒業（修了）証明書（卒業（修了）見込証明書）

出身大学（院）の発行する卒業（修了）証明書（卒業（修了）見込証明書）を厳封の上提出してください。

3. 成績証明書

- (1) 出身大学（院）の発行する成績証明書を厳封の上提出してください。
- (2) 博士前期課程・修士課程に出願される方で在籍大学の事情により、出願時に履修中の科目を含めた成績証明書が提出できない場合は、出願期間前に必ず入試広報課にご連絡ください。
- (3) 短大より大学に編入学された方は、短大の成績証明書も提出してください。

4. 研究計画書、長期履修学生申請書および所属長の承諾書

本学様式の「研究計画書」、「長期履修学生申請書」および「所属長の承諾書」については、様式を本学ホームページよりダウンロードできるようにしています。

京都女子大学ホームページの『入試情報』から大学院入試の「出願関係書類様式」にアクセスすると、PDF形式およびWord文書で掲載していますので、どちらかを利用してください。

なお、研究計画書が複数枚になる場合は、用紙右上に「No.」の記載がありますので、ページ番号をつけてください。

5. 入学検定料の振込みについて

- (1) 銀行又は信用金庫等を利用する場合
 - ① 入学検定料は、銀行又は信用金庫等の金融機関（ゆうちょ銀行は不可）から、「電信扱い」で振込んでください。その際に振込依頼書、領収書及び振込確認書は切り離さずに金融機関に提出し、3ヵ所に銀行領収印を受け、領収書は各自大切に保管してください。
 - ② 京都銀行本・支店以外の金融機関で振込む場合は、振込手数料が必要です。
 - ③ 「振込依頼書」には必ず志望コード（5桁）を記入してください。「科目」欄への記入は不要です。
 - ④ ATMでの振込みはできません。
 - ⑤ 領収書と振込確認書を切り離し、志願票に貼付してください。
- (2) コンビニエンスストアを利用する場合
同封の『コンビニでの入学検定料支払い方法』に従って検定料を振込み、「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を志願票の所定の場所に必ず貼付してください。なお、支払期間最終日の「Webサイトでの申込」は、23：00までとなりますので注意してください。

6. 出願方法

所定の『願書提出用宛名ラベル』を本学ホームページからダウンロードし、A4の用紙に出力の上、任意の封筒に貼付し、出願書類一式を入試広報課窓口にて提出、または簡易書留速達郵便にて郵送してください（締切日消印有効）。

一旦納入された検定料および提出された書類は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。

社会人の出願について

大学院設置基準第14条の特例を希望する場合は、必ず、出願前に入試広報課までお問い合わせください。

なお、有職者の場合は入学手続き時に「所属長の承諾書」の提出が必要です。また、現在無職であっても、2025年4月以降に在職予定の場合は、同様に提出が必要です。(法学研究科法学専攻への出願者は、提出の必要はありません。)要項を熟読の上、出願書類をご確認ください。

試験当日の注意事項

- ・試験会場は受験票にてお知らせします。
- ・遅刻限度は試験開始後20分です。20分以上遅刻した場合は受験できません。

個人情報の取扱いについて

入学試験にかかる出願、試験結果、入学手続き等により保有する受験生の個人情報については、「京都女子学園の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、適正に取扱うとともに、正確性・機密性の保持に努めます。

個人情報の利用について

志願票に記載された個人情報は、受験に関する問い合わせ、受験票の発送の他、入学者名簿の作成作業等にも一部利用します。

試験会場案内図

試験会場 京都女子大学校舎（京都市東山区今熊野北日吉町35番地）



※試験会場については受験票にて通知しますので、上記案内図で場所をご確認ください。

入学手続について

合格者には合格通知とともに手続書類を送付します。手続要項を熟読の上、入学手続を完了してください。
所定の手続期間内に納付金の納入がない場合は、入学資格を失いますので注意してください。

入学辞退手続について

入学手続完了後に入学を辞退する場合は、2025年3月31日(月)〈必着〉までに本学所定用紙にて「入学辞退届」をご提出ください。

※入学辞退にともなう入学手続時納付金は次の通り取扱います。

① 入学金

入学手続時納付金として納入された入学金は、いかなる事情があっても返還いたしません。

② 入学金以外の入学手続時納付金

所定の期日(2025年3月31日(月)〈必着〉)までに「入学辞退届」の提出がない場合、入学金以外の入学手続時納付金についても返還しません。

〈参 考〉

2025年度学費につきましては、決定次第京都女子大学ホームページにてお知らせします。

1. 2024年度入学手続時納付金

[博士後期課程]

(単位：円)

研究科・専攻		納付金種別	入学金 ※ 本学出身者 は不要	授業料 (前期分)	施設 設備費	建設 協力金	実験 実習料	育友会 会費	合計 ()は本学出身者
文学研究科	国文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	入会金 3,000	470,000 (320,000)
	英文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
	史学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
発達教育学研究科	教育学専攻 (教育学領域)		150,000	220,000	70,000	20,000	—	会費年額 7,000	470,000 (320,000)
	教育学専攻 (心理学領域)		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		480,000 (330,000)
家政学研究科	生活環境学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	100,000		570,000 (420,000)
現代社会研究科	公共圏創成専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)

※「本学出身者」とは、京都女子大学大学院博士前期課程または修士課程を修了した方です。

[博士前期・修士課程]

(単位：円)

研究科・専攻		納付金種別	入学金 ※ 本学出身者 は不要	授業料 (前期分)	施設 設備費	建設 協力金	実験 実習料	育友会 会費	合計 ()は本学出身者
文学研究科	国文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	入会金 3,000	470,000 (320,000)
	英文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
	史学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
発達教育学研究科	教育学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	会費年額 7,000	470,000 (320,000)
	心理学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		480,000 (330,000)
	表現文化専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
	児童学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		480,000 (330,000)
家政学研究科	食物栄養学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	100,000		570,000 (420,000)
	生活造形学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	50,000		520,000 (370,000)
	生活福祉学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
現代社会研究科	公共圏創成専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)
法学研究科	法学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		470,000 (320,000)

※「本学出身者」とは、京都女子大学を卒業した方です。

2. 2024年度学費等納付金

[博士後期課程]

(単位：円)

研究科・専攻		納付金種別	入学手続期間中に納入					育友会 会費	後期に納入 授業料 (後期分)	合計 ()は本学出身者
			入学金 ※本学出身 者は不要	授業料 (前期分)	施設 設備費	建設 協力金	実験 実習料			
文学 研究科	国文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	入会金 3,000	220,000	690,000 (540,000)
	英文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		220,000	690,000 (540,000)
	史学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		220,000	690,000 (540,000)
発達教育学研究科	教育学専攻 (教育学領域)		150,000	220,000	70,000	20,000	—	会費年額 7,000	220,000	690,000 (540,000)
	教育学専攻 (心理学領域)		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		220,000	700,000 (550,000)
家政学研究科	生活環境学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	100,000	7,000	222,000	792,000 (642,000)
現代社会研究科	公共圏創成専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	7,000	220,000	690,000 (540,000)

※「本学出身者」とは、京都女子大学大学院博士前期課程または修士課程を修了した方です。

[博士前期・修士課程]

(単位：円)

研究科・専攻		納付金種別	入学手続期間中に納入					育友会 会費	後期に納入 授業料 (後期分)	合計 ()は本学出身者
			入学金 ※本学出身 者は不要	授業料 (前期分)	施設 設備費	建設 協力金	実験 実習料			
文学 研究科	国文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	入会金 3,000	220,000	690,000 (540,000)
	英文学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		220,000	690,000 (540,000)
	史学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		220,000	690,000 (540,000)
発達教育学研究科	教育学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	会費年額 7,000	220,000	690,000 (540,000)
	心理学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		220,000	700,000 (550,000)
	表現文化専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—		220,000	690,000 (540,000)
	児童学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	10,000		220,000	700,000 (550,000)
家政学研究科	食物栄養学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	100,000	7,000	222,000	792,000 (642,000)
	生活造形学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	50,000	7,000	222,000	742,000 (592,000)
	生活福祉学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	7,000	222,000	692,000 (542,000)
現代社会研究科	公共圏創成専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	7,000	220,000	690,000 (540,000)
法学研究科	法学専攻		150,000	220,000	70,000	20,000	—	7,000	220,000	690,000 (540,000)

※「本学出身者」とは、京都女子大学を卒業した方です。

注) 学費等納付金額は、経済情勢の変動等により、在学中に変更することがあります。ただし、年度途中での改定は行いません。

2年目以降の納付金は、授業料・施設設備費・実験実習料・育友会会費（入会金除く）の合計額となります。

注) 発達教育学研究科心理学専攻（博士前期課程）臨床心理学領域については、上記以外に「臨床心理基礎実習」及び「臨床心理実習」（学外実習）にかかる経費が必要となります。

2024年度入学者は265,000円（1回生時135,000円 2回生時130,000円）を徴収する予定です。

「個別の入学資格審査」について

大学院出願資格（博士後期課程第5号、博士前期・修士課程第10号、社会人特別選抜第10号）により、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等で、個別の入学資格審査を希望する場合は、事前に「個別の入学資格審査」を実施しますので、本学の定める期日までに必要書類を提出してください。

【申請方法】

〔申請手順〕

- ① あらかじめ入試広報課に電話をして個別の入学資格審査を申し出てください。
- ② 下記申請期限までに、必要書類を郵送してください。

〔提出書類〕

- ① 個別の入学資格審査申請書（P.32様式）
- ② 履歴書（様式任意）
- ③ 業績書、出身学校の成績証明書、論文等、活動実績を記載したもので、大学を卒業（博士後期課程においては修士の学位を取得）した者と同等以上の学力があることを確認できる書類

〔申請期限〕

- ① 秋季入試（博士前期・修士課程）
2024年8月22日(木)（必着）
- ② 春季入試（博士後期課程、博士前期・修士課程）
2024年11月29日(金)（必着）

【審査方法および結果について】

提出された書類に基づき、申請者の学修歴および社会での実績等について、大学を卒業（博士後期課程においては修士の学位を取得）した者と同等以上の学力があるかを審査し、出願期間までに結果を連絡いたします。

令和 年 月 日

京都女子大学 学長 様

(申請者)

住 所 _____

氏 名 _____

⑩

個別の入学資格審査申請書(大学院)

京都女子大学大学院出願資格(博士後期課程第5号、博士前期・修士課程第10号、社会人特別選抜第10号)に基づき、個別の入学資格審査を申請いたします。

以 上

出 願 希 望 研 究 科 課 程 ・ 専 攻 ・ 研 究 領 域	
添 付 書 類 (種類及び枚数を記入してください)	

長期履修学生制度（概要）

京都女子大学大学院では、職業等に従事しながら、あるいは育児や介護等への事情により、研究・学習活動に充てられる時間に制限のある方々が、大学院で学ぶ機会を一層拡大する観点から、「長期履修学生制度」を2015（平成27）年度入学生から導入しています。

この制度は、職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間で履修可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限され、通常の修業年限（博士前期課程及び修士課程は2年間、博士後期課程は3年間）で修了することが困難な方のための制度です。在学期間中の授業料については、P.34参照。

時間的制約の多い社会人の方々が、各々、個人の事情に応じて柔軟に修業年限を超えて学び、仕事等に従事しながら学位を取得することが可能になります。

この制度は、本人の申請に基づいて審査し、標準履修年限を超えて長期履修をあらかじめ認め、計画的に課程を修了することにより、学位の取得を可能にしたものです。

1. 制度の趣旨

職業を有している、あるいは育児や介護等の事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、学則に定めた標準修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な学生の学位取得を支援するために、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することができる制度です。

2. 申請資格

長期履修学生制度の適用を受ける学生（以下「長期履修学生」という。）として申請することができる者は、本大学院の在學生及び入学予定者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 有職者であって、職務上の事情により標準修業年限で修了することが困難な者
- (2) 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) その他特別の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

3. 申請期間

申請期間につきましては、秋季選抜・春季選抜それぞれの出願期間に受け付けます。（所定の申請書につきましては、様式を本学ホームページよりダウンロードできるようにしています）なお、申請に基づく審査の結果、長期履修学生として入学を許可された者へは秋季選抜・春季選抜それぞれの合格発表時に「長期履修学生許可書」を入学手続書類に同封いたします。

4. 長期履修学生の修業年限・在学期間・休学期間

長期履修学生として標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間は、博士前期課程及び修士課程は4年を限度として、博士後期課程は6年を限度として、年度単位で申請できます。

なお、長期履修学生の在学期間は、学則第3条第4項（博士前期課程及び修士課程に4年、博士後期課程に6年をこえて在学することはできない）に準拠し、休学期間についても学則第34条第2項（博士前期課程及び修士課程においては2年、博士後期課程においては3年を超えることはできない）に準拠して適用されます。

5. 修学上の配慮

長期履修学生に対して、同制度が社会人の学位取得を支援する目的であることに鑑み、同制度の適用と同時に、でき得る限り平日6講時や土曜日開講等の配慮も行い、必要に応じて同じ授業を標準修業年限の学生とは別の時間帯にも開講する等、社会人が入学しやすい環境を整備します。

6. 長期履修期間の変更

長期履修期間の変更（延長または短縮）は、長期履修学生として入学した者に限りその申請を受け付けることとし、在学中に長期履修を申請した者の変更は一切認めません。

なお、同変更については1年単位で申請できるものとし、学年始の2ヶ月前までに申し出たものについて、入学を許可された研究科教授会の議を経たうえで、在学中1回に限り許可します。ただし、修了する予定の学年時における延長の申請はできません。

7. 学費徴収について

長期履修学生の授業料は、標準修業年限分の授業料総額を長期履修期間に応じて分割して納付します。【下表参照】

ただし、在学中に授業料の改定がある場合及び長期履修期間の変更が認められた場合は、授業料を再計算することになります。また、施設設備費は毎年度徴収し、実験実習費、課程履修費及びその他の費用は、必要に応じ別途徴収します。

【授業料の納入例】

(1) 修士課程及び博士前期課程

授業料			1年次	2年次	3年次	4年次
長期履修期間3年の場合	文学研究科 発達教育学研究科 現代社会研究科 法学研究科	前期	148,000	146,000	146,000	
		後期	148,000	146,000	146,000	
		年額	296,000	292,000	292,000	
	家政学研究科	前期	148,000	146,000	146,000	
		後期	148,000	148,000	148,000	
		年額	296,000	294,000	294,000	
長期履修期間4年の場合	文学研究科 発達教育学研究科 現代社会研究科 法学研究科	前期	110,000	110,000	110,000	110,000
		後期	110,000	110,000	110,000	110,000
		年額	220,000	220,000	220,000	220,000
	家政学研究科	前期	110,000	110,000	110,000	110,000
		後期	111,000	111,000	111,000	111,000
		年額	221,000	221,000	221,000	221,000

(備考) 上記以外の場合にあつては、別途年次ごとの納付額を計算するものとする。

(2) 博士後期課程

授業料			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
長期履修期間4年の場合	文学研究科 発達教育学研究科 現代社会研究科 法学研究科	前期	165,000	165,000	165,000	165,000		
		後期	165,000	165,000	165,000	165,000		
		年額	330,000	330,000	330,000	330,000		
	家政学研究科	前期	165,000	165,000	165,000	165,000		
		後期	168,000	166,000	166,000	166,000		
		年額	333,000	331,000	331,000	331,000		
長期履修期間5年の場合	文学研究科 発達教育学研究科 現代社会研究科 法学研究科	前期	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	
		後期	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	
		年額	264,000	264,000	264,000	264,000	264,000	
	家政学研究科	前期	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	
		後期	134,000	133,000	133,000	133,000	133,000	
		年額	266,000	265,000	265,000	265,000	265,000	
長期履修期間6年の場合	文学研究科 発達教育学研究科 現代社会研究科 法学研究科	前期	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		後期	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		年額	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000
	家政学研究科	前期	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		後期	111,000	111,000	111,000	111,000	111,000	111,000
		年額	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000

(備考) 上記以外の場合にあつては、別途年次ごとの納付額を計算するものとする。

※制度の趣旨・内容をよく検討し、申請してください。

【問い合わせ先】 京都女子大学 入試広報課 E-mail nyuushi@kyoto-wu.ac.jp
お問い合わせされる場合には、題名(件名)に「長期履修学生制度」と必ず明記の上送信してください。

京都女子大学大学院長期履修学生規程

制 定 平成 27 年 4 月 1 日
最近改正 令和 4 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、京都女子大学大学院（以下「本大学院」という。）学則第 3 条第 5 項の規定に基づき、長期履修学生制度に関し必要な事項を定める。

(申請資格)

第 2 条 長期履修学生制度の適用を受ける学生（以下「長期履修学生」という。）として申請できる者は、本大学院の在學生及び入学予定者のうち、次の各号の一に該当し、本大学院学則第 3 条第 2 項または同第 3 項に定める標準修業年限内での修学が困難な者とする。

- (1) 有職者であって、職務上の事情により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (2) 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) その他、特別の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めたる者

(長期履修期間及び在学年限)

第 3 条 長期履修学生として標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間（以下「長期履修期間」という。）は、博士前期課程及び修士課程は 4 年を限度として、博士後期課程は 6 年を限度として、年度単位で申請できるものとする。

2 長期履修学生の在学期間は学則第 3 条第 4 項に準拠し、休学期間は学則第 34 条第 2 項に準拠する。

(申請手続)

第 4 条 長期履修学生制度の適用を希望する者は、博士前期課程及び修士課程の在學生においては 1 回生終了時の本学が定めた時期に、博士後期課程の在學生においては 1 回生終了時または 2 回生終了時の本学が定めた時期に、入学予定者においては学生募集要項等で定めた時期に、それぞれ次の書類を添えて、学長に願い出なければならない。

- (1) 長期履修学生申請書（本学所定の様式）
- (2) 第 2 条の各号に定める申請資格を証明する書類
- (3) その他、学長が必要と認める書類

(決定)

第 5 条 長期履修学生制度の適用は、前条の申請に基づき、研究科教授会の議を経て、学長が決定する。

(授業料等)

第 6 条 授業料等の納入方法は、別に定める。

(履修計画)

第 7 条 長期履修学生は、指導教員から十分な指導を受け、計画的に教育課程を履修することとする。

(長期履修期間の変更)

第 8 条 長期履修学生が、許可された長期履修期間の延長または短縮を希望する場合は、許可を受けようとする学年開始の 2 ヶ月前までに、本学所定の書類を添えて学長に申請しなければならない。ただし、修了する予定の学年時における延長の申請はできない。

2 前項の申請については、長期履修学生として入学した者のみ受け付けることとし、研究科教授会の議を経て、学長が許可する。

3 長期履修期間の変更は 1 年単位で申請できるものとし、本大学院在学中 1 回に限り許可することがある。

4 変更申請が許可された場合における授業料その他納付金の額は、別に定める。

(長期履修の許可の取消し)

第 9 条 長期履修学生が本大学院学則及び諸規程に違反したとき、または長期履修に関し虚偽の申請をしたときは、学長は、研究科教授会の議を経て、長期履修の許可を取り消すことができる。

(規程の改廃)

第 10 条 この規程の改廃は、大学院委員会及び評議会の議を経て学長が行う。

(その他)

第 11 条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、各研究科において別に定める。

附 則

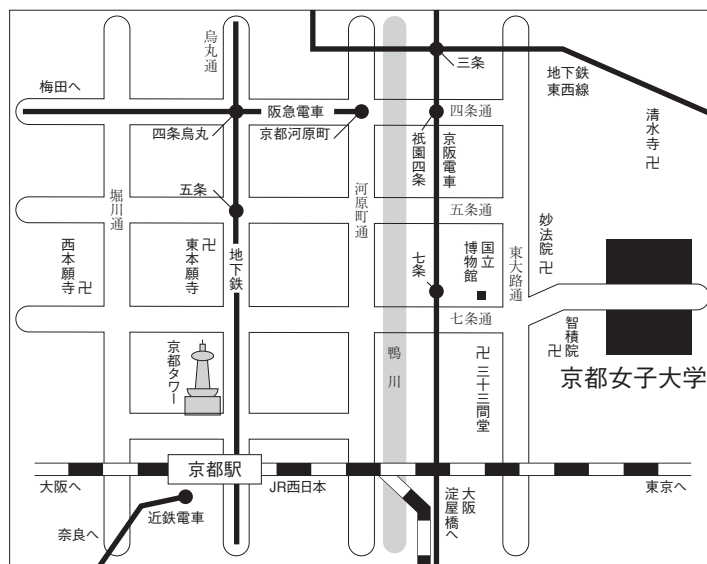
この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行し、平成 27 年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行し、平成 28 年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。



本学への主な交通機関

JR・近鉄「京都」駅より

市バス(中央改札口前) 206系統 208系統

プリンセスラインバス(八条口前)

阪急「京都河原町」駅より

市バス(6番出口から) 207系統

プリンセスラインバス(2番出口から)

京阪「七条」駅より

徒歩(東へ約900m)

- ・市バスの場合はいずれも「東山七条」にて下車し、東へ徒歩5分
- ・プリンセスラインバスの場合はいずれも「京都女子大学前」で下車

京都女子大学大学院

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地
 京都女子大学 入試広報課 (電話 075-531-7054)
 URL <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>
 e-mail nyuushi@kyoto-wu.ac.jp